



株式会社フリークアウト・ホールディングス  
(東証グロース：6094)

2023年9月期 通期  
決算説明資料

2023年11月14日

# 人に人らしい仕事を。

## Give People Work That Requires A Person.

近年、AI技術の躍進により、企業はデジタル変革への取り組みをより一層強化しています。しかし、我々フリークアウトは、AI技術による変革の核心は、単に既存の業務効率を向上させるだけではなく、新たな価値を生み出すことにあると考えています。すなわち、我々が目指すのは、AI技術による効率化で生まれた新しい時間、考え方によって、今までにない新しい価値を人が作り出す、「**人らしい仕事**」の**創造**です。これにより、AI技術の進歩が、仕事を奪われるというネガティブなものではなく、人々にとって希望に満ちたものとなることを願っています。

これからも我々フリークアウトは、「**人に人らしい仕事を**」をミッションに、AI技術の躍進の波に乗りながらも、人間が持つ創造性や感性を大切にしていきます。それによって、単なる効率化だけでなく、独自の要素や革新的なアイデアを社会に対してもたらすことができるでしょう。フリークアウトは、AI技術を最大限活用しつつ、人間が持つ独自性と共存・共栄する未来を実現することを目指しています。

代表取締役社長 Global CEO  
本田 謙

| 売上  | EBITDA | 営業利益 | 当期純利益 | 時価総額*1 |
|-----|--------|------|-------|--------|
| 306 | 34.5   | 16.1 | 78.7  | 170    |
| 億円  | 億円     | 億円   | 億円    | 億円     |

広告事業

インフルエンサー  
マーケティング事業

| 日本   | 北米   | アジア                                 |
|--|--|-------------------------------------|
| <p>売上<br/>(DSP、アドプラットフォーム等)</p> <p>63 億円</p> <p>FY23</p> | <p>タクシーサイネージ<br/>シェア (都内)*2</p> <p>62.2%</p> | <p>売上</p> <p>165 億円</p> <p>FY23</p> |
|  |  | <p>売上</p> <p>77 億円</p> <p>FY23</p>  |



参考：売上231億円  
(2023年5月期実績)  
※当社連結前

1) 2023年9月29日終値で計算  
2) 分子は都内のIRIS社タクシーサイネージ導入タクシー台数、分母は都内のタクシー台数

- ・ アドテク業界のトップテクノロジーベンダーとして、多方面へプロダクトを展開
- ・ 日本をはじめアドテク最大市場である米国、アジアにグローバル展開

## 広告事業

### 広告事業（日本）

#### 広告主向け



国内最大級の広告在庫を保有するDSP



位置情報マーケティングプラットフォーム



デジタル広告コンサル・運用サービス



コンテクスチュアルターゲティングによるYouTube広告枠買付

#### 広告主 & メディア向け



コンテンツUIと親和性の高い広告フォーマットによるアドネットワーク

#### メディア向け



Scarlet

広告枠の開発・販売・運用まで広告プラットフォームの構築を一気通貫で支援するソリューション

TOKYO PRIME

プレミアムなデジタルサイネージ（タクシー）広告

#### リテール向け



STORE GEEK

定番棚設置型リテールメディアサービス



小売事業者向けインターネット広告配信プラットフォーム

### 広告事業（海外）

#### 北米



メディア収益最大化を支援するプラットフォームサービス

#### アジア



(台湾)

MAプラットフォームを活用したトレーディングデスク、メディア収益化支援



(中国・インドネシア・台湾 など)

フリークアウト海外拠点によるグループプロダクト販売、アプリディベロッパー向けマーケティング支援

## 新領域事業・投資事業

### ベンチャー投資

*FreakOut Shinsei Fund*  
ベンチャーキャピタルファンドの運営（新生企業投資との共同運営）

### 次世代型チャット

**Jent** (未連結) ボット+有人のハイブリッド型チャット接客

## インフルエンサーマーケティング事業



国内最大級のコンテンツクリエイターネットワークを保有するインフルエンサーマーケティングカンパニー

- Section1 エグゼクティブサマリ
- Section2 2023年9月期 第4四半期決算の概要
- Section3 2023年9月期 通期決算の概要
- Section4 2024年9月期 業績予想について
- Section5 事業の進捗（日本）
- Section6 事業の進捗（北米）
- Section7 事業の進捗（アジア）

※ 本決算説明資料の基礎データの一部は、IRライブラリからExcelファイルでダウンロードいただけます。  
(ダウンロードリンクは[こちら](#))



---

# Section1 エグゼクティブサマリ

---

**2023年9月期 第4四半期** 売上高73.9億円（前年同四半期比▲0.3%）、売上総利益 24.5億円（同+20.8%）、EBITDA10.1億円（同+79.5%）で着地

- 投資事業収益貢献（営業利益約7.8億円）
- 北米事業は売上高が前年同四半期の8割程度、EBITDAは前年同四半期の1/3強の1.4億円で着地。年明けに向けて新規クライアント獲得が順調、来期第3四半期以降に再成長を開始できる見込み
- アジア事業は中国拠点の苦戦の影響で落ち込みも、その他の拠点は順調

**2023年9月期 通期** 通期で売上高306.0億円、EBITDA34.5億円で中計最終年度の目標を達成

- 北米広告市場の低迷とクライアントロストの影響を投資事業でカバーして、中計目標（EBITDA30億円）を達成

**2024年9月期 業績予想** 売上高510億円、EBITDA20億円

- 以下が主な増減要因
  - UUUMの連結子会社化によるPL加算（2023年9月～2024年9月までの13か月間のPLを取り込み）
  - 投資事業による収益は見込まず（なお、23年9月期EBITDA13.0億円）
  - 北米事業の第1四半期の前年同四半期比減少と第3四半期以降の回復による影響
- 次期3か年中期経営計画は11月内に公表する見込み（26年9月期にEBITDA60億円目標）

---

## Section2 2023年9月期 第4四半期決算の概要

---



## 連結売上高

**73.9億円** (前年同四半期比▲0.2億円、▲0.3%)

- ・ 日本15.0億円、前年同四半期比微増 (+1.4億円)
- ・ 北米34.7億円、前年同四半期比▲7.2億円 (ドルベースでの実績はSection6)
- ・ アジア17.8億円、前年同四半期比▲4.6億円

## 連結EBITDA

**10.1億円** (前年同四半期比+4.5億円、+79.5%)

- ・ 日本3.5億円、前年同四半期比横ばい+0.3億円 (+11.1%)
- ・ 北米1.4億円、前年同四半期比▲2.9億円 (▲67.3%)
- ・ アジア0.3億円、前年同四半期比▲1.1億円 (▲77.8%)
- ・ 投資事業 (7.8億円) を除くと2.3億円、前年同期比▲3.4億円 (▲59.8%)

## 連結経常利益

**6.1億円** (前年同四半期比+1.4億円)

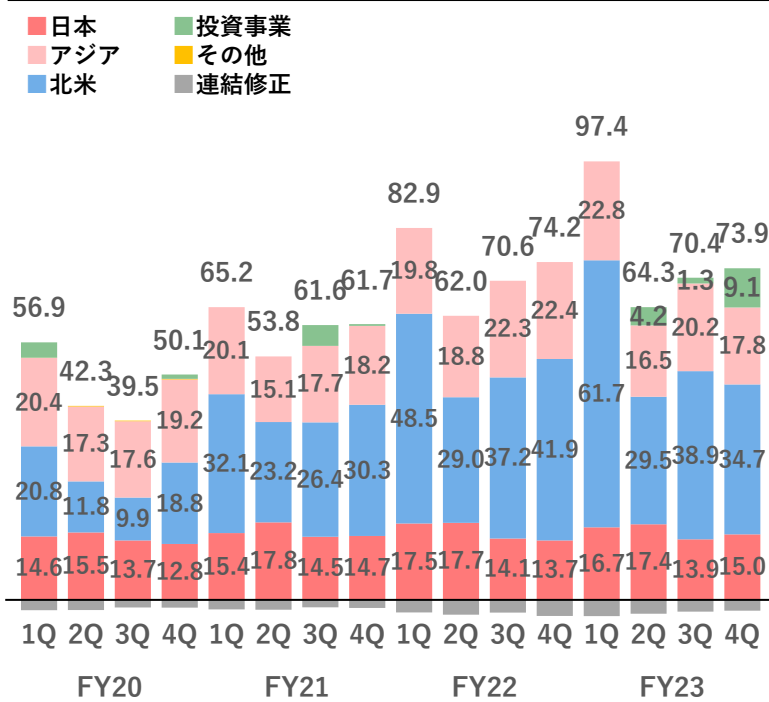
- ・ 為替差益 (1.3億円)

- ・ 営業利益：**4.1億円**
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益：**▲3.4億円** (Playwire買収時ののれん、無形資産計**20.8億円**を減損)
- ・ 上記により、24年9月期以降は償却費が計約**2.3億円**/年輕減予定

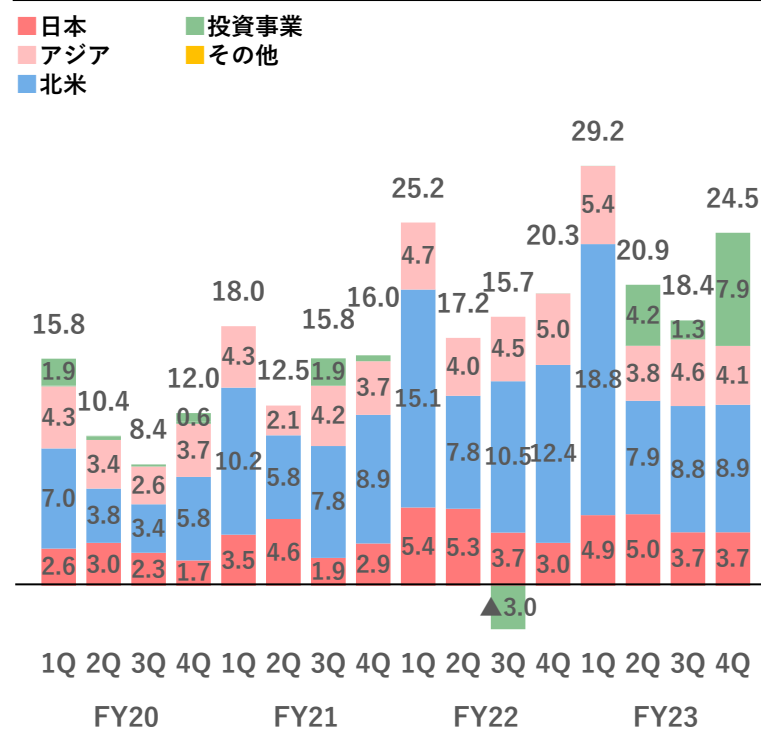
- 前年同四半期約2倍のEBITDA10.1億円で着地（投資事業が大きく収益貢献：7.8億円）
- 日本事業は本田商事など好調で売上、EBITDAともに増（対前年比+10%程度）
- 北米、アジアは前年同四半期比で売上、EBITDAともにダウン（詳細は各Sectionで）

単位:億円

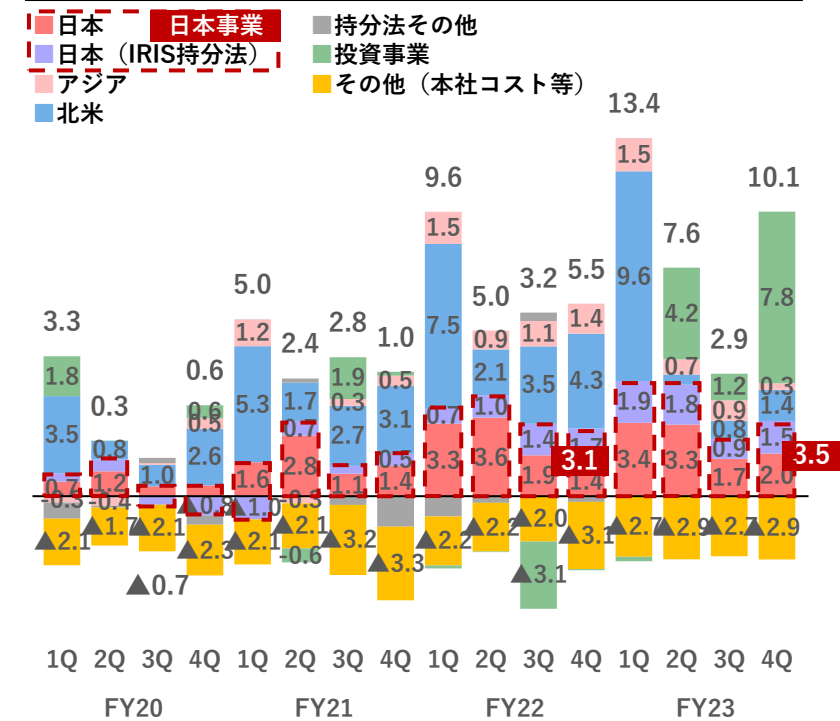
## 売上



## 売上総利益



## EBITDA



- UUUM社買収に伴う取得等費用1.6億円、SO行使条件確定に伴う株式報酬費用1.2億円の一過性の費用が発生（営業利益以下に計2.8億円程度のネガティブ影響）

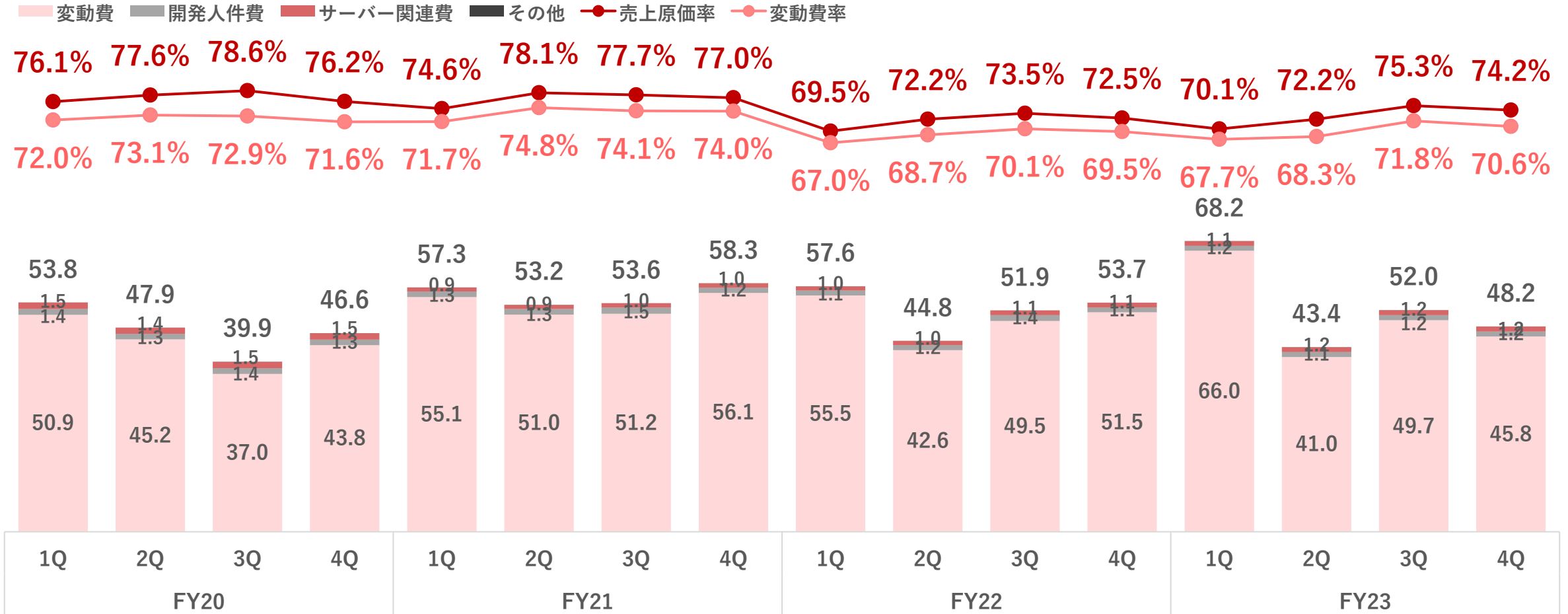
単位:百万円

|               | FY22 |     |     |      | FY23  |      |      |       |
|---------------|------|-----|-----|------|-------|------|------|-------|
|               | 1Q   | 2Q  | 3Q  | 4Q   | 1Q    | 2Q   | 3Q   | 4Q    |
| <b>営業利益</b>   | 898  | 301 | 17  | 114  | 1,008 | 202  | ▲6   | 406   |
| 持分法投資利益       | ▲4   | 122 | 191 | 176  | 183   | 255  | 101  | 164   |
| のれん償却費        | 23   | 24  | 27  | 28   | 28    | 25   | 26   | 28    |
| 減価償却費         | 72   | 77  | 96  | 97   | 104   | 111  | 125  | 129   |
| 株式報酬費用        | 0    | 0   | 0   | 146  | 48    | 48   | 48   | 123   |
| 株式取得・売却関連費用*1 |      |     |     |      |       | 136  |      | 160   |
| <b>EBITDA</b> | 989  | 524 | 332 | 562  | 1,371 | 778  | 294  | 1,010 |
| のれん償却費        | ▲23  | ▲24 | ▲27 | ▲28  | ▲28   | ▲25  | ▲26  | ▲28   |
| 減価償却費         | ▲72  | ▲77 | ▲96 | ▲97  | ▲104  | ▲111 | ▲125 | ▲129  |
| 株式報酬費用        | 0    | 0   | 0   | ▲146 | ▲48   | ▲48  | ▲48  | ▲123  |
| 株式取得・売却関連費用   |      |     |     |      |       | ▲136 |      | ▲160  |
| その他（為替差損益等）   | 88   | 229 | 397 | 180  | ▲370  | 29   | 327  | 38    |
| <b>経常利益</b>   | 982  | 651 | 605 | 471  | 821   | 487  | 422  | 609   |
| 経常利益（為替差損益除く） | 858  | 382 | 168 | 230  | 1,180 | 449  | 86   | 483   |

\*1. 株式取得・売却関連費用はM&amp;A（取得・売却）に伴って発生する費用の集計

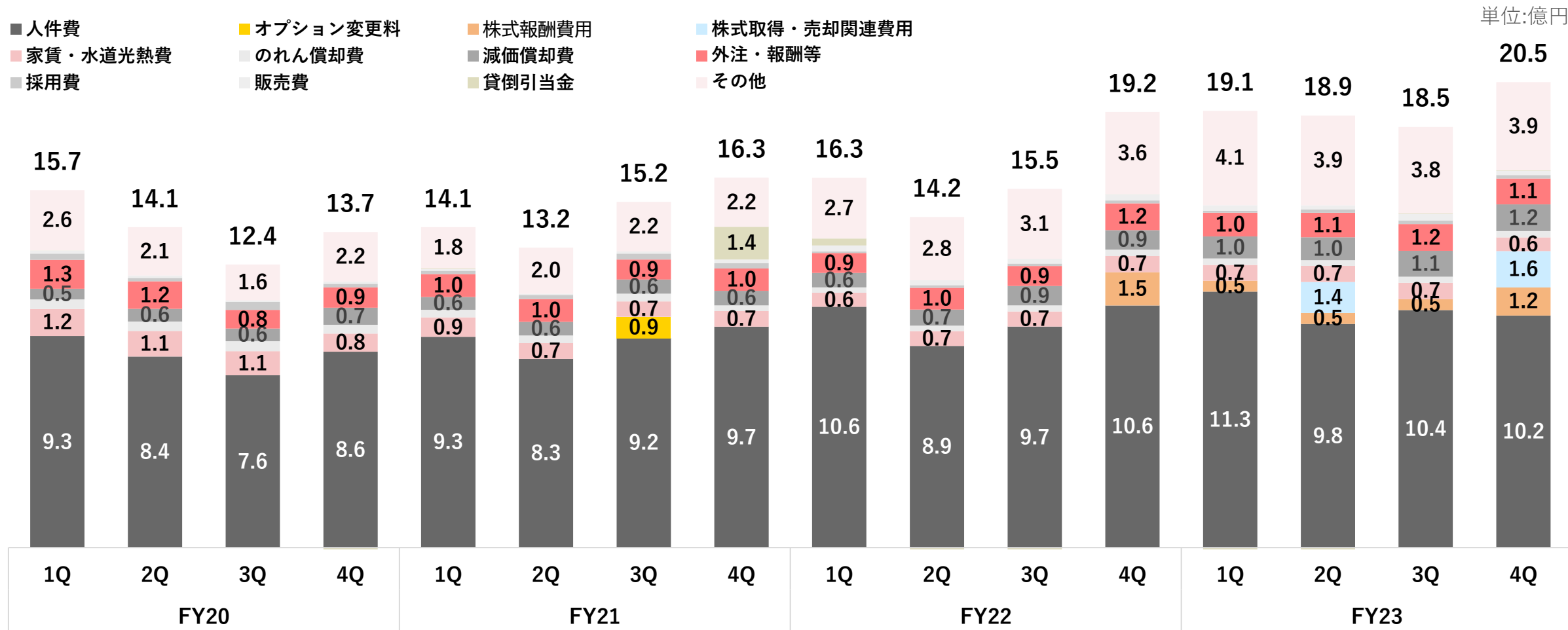
・ プロダクト別の大きな粗利率の増減はなし

単位:億円



\*主要事業の売上原価を比較するために、投資事業による売上・原価への影響を除く

- UUUM社買収に伴う取得費用等1.6億円、株式報酬費用1.2億円の一過性の費用により増加
- その他については大きな増減はなし



- UUUM連結により、グループ全体の人員数が大幅に増加

単位:人

|          | FY22 |     |     |     | FY23 |     |     |              |
|----------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|--------------|
|          | 1Q   | 2Q  | 3Q  | 4Q  | 1Q   | 2Q  | 3Q  | 4Q           |
| 日本       | 102  | 104 | 106 | 104 | 109  | 112 | 115 | <b>113</b>   |
| 北米       | 75   | 88  | 87  | 88  | 91   | 97  | 93  | <b>91</b>    |
| アジア      | 241  | 255 | 240 | 243 | 242  | 243 | 238 | <b>229</b>   |
| UUUM     |      |     |     |     |      |     |     | <b>574</b>   |
| その他（本社等） | 49   | 49  | 42  | 43  | 44   | 43  | 42  | <b>47</b>    |
| グループ合計   | 467  | 496 | 475 | 478 | 486  | 495 | 488 | <b>1,054</b> |



---

## Section3 2023年9月期 通期決算の概要

---

## 連結売上高

**306.0億円** (前年同期比+16.4億円、+5.7%)

過去最高

- ・ (日本) 動画・Connected TVなど好調も全体として前年並みで着地
- ・ (北米) 第2四半期以降不調により売上高の成長率は5.2%程度で着地 (業績予想の未達要因)
- ・ (アジア) 前年同期比微減 (一部拠点で苦戦も、概ね全拠点の黒字化完了)

## 連結EBITDA

**34.5億円** (前年同期比+10.5億円、+43.4%)

過去最高

- ・ IRISの利益貢献が通年化に加えて投資事業も貢献、EBITDAの成長率は43.4%
- ・ 中期経営計画に掲げた目標数値30億円をクリア

## 連結経常利益

**23.4億円** (前年同期比▲3.7億円、▲13.7%。為替差損益除外すると前年同期比+5.6億円、+34.1%)

- ・ 為替差益(1.4億円)等が発生

- ・ 営業利益：**16.1億円** 過去最高

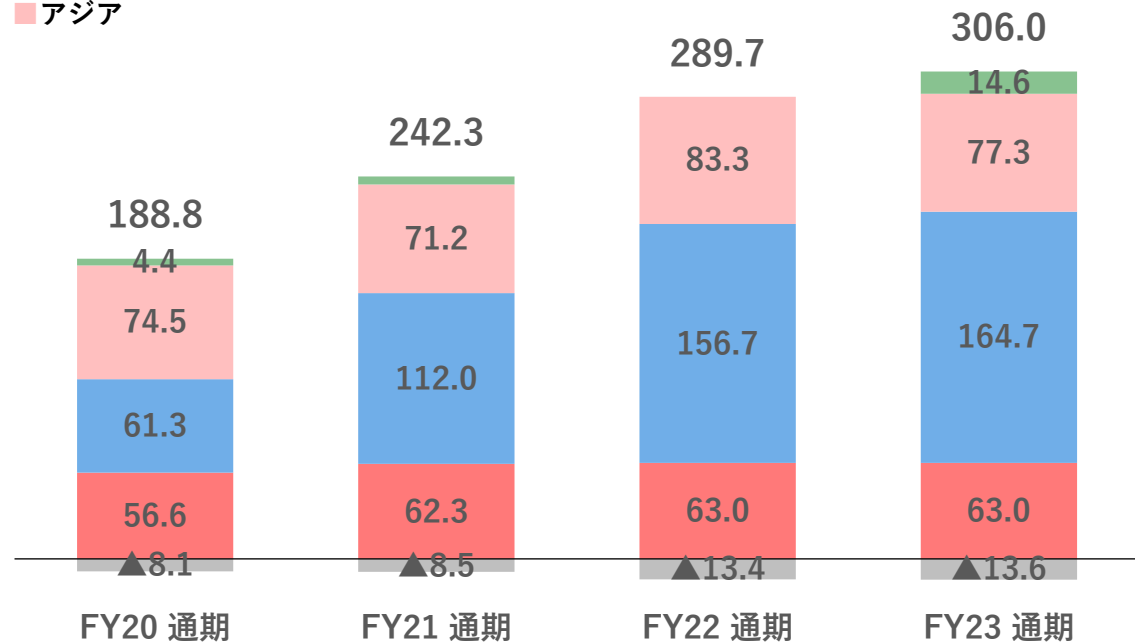
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益：**78.7億円** 過去最高

- 前年比で北米とアジアは減益の一方で、日本と投資事業のEBITDA貢献により、目標数値のEBITDA30億円を超過して着地

## 売上

単位:億円

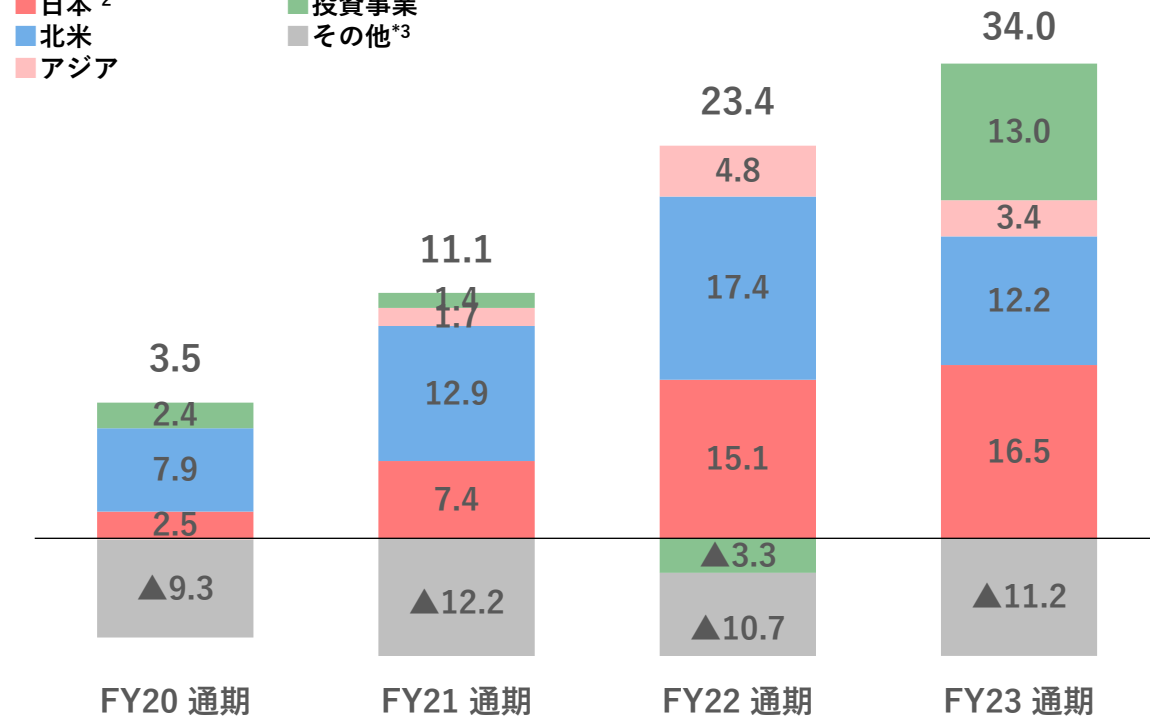
■ 日本  
■ 北米  
■ アジア  
■ 投資事業  
■ その他\*3



## EBITDA

単位:億円

■ 日本\*2  
■ 北米  
■ アジア  
■ 投資事業  
■ その他\*3



\*1.継続事業ベース=非連結化した各社を除外して集計

\*2.タクシーサイネージのIRIS（持分法適用会社）を含む

\*3.その他は、連結修正（売上）、本社コスト（EBITDA）等の合算値

- カンム売却等を通じて、UUUM子会社化前で連結自己資本比率は47%超（22年9月期末34.4%から13%増）
- UUUM子会社化により、現預金の減、資産（のれん含む）・負債が生じるも、37.7%

## UUUM連結前

単位:億円

## UUUM連結後

単位:億円

UUUM総資産106億円-取得価額76億円

|       |     |              |       |     |     |         |
|-------|-----|--------------|-------|-----|-----|---------|
|       |     | <b>+89億円</b> |       |     |     |         |
| 現預金   | 224 | 75           | 借入金   | 30  | 74  |         |
|       |     | 32           | 未払法人税 |     |     |         |
|       |     | 60           | その他負債 |     |     |         |
|       | 178 | 純資産          | 59    | のれん | 15  | 非支配株主資本 |
| その他資産 | 121 |              |       | 345 | 負債  |         |
|       |     |              |       |     | 167 |         |
|       |     |              |       |     | 178 | 純資産     |

---

## Section4 2024年9月期業績予想について

---

- 24年9月期上期は、各事業厳しい状況を予想
- 下期以降、UUUM含めた再成長へ（通期でEBITDA20億円確保）

## 北米

- 24年9月期第1四半期は、対前年同四半期比で大幅減を見込む
- クライアント獲得が順調に進行しており、24年9月期の第3四半期以降は前年同四半期を上回る水準で推移できる見込み（通期では23年9月期12.2億円と比較して減、25年9月期以降再成長へ）

## 日本

- 動画・Connected TV領域の成長とIRIS堅調も、足元の市況感悪化やクッキー問題の影響を受ける可能性等を加味して、23年9月期比で横ばいから若干のダウンを見込む

## アジア

- 中国事業が苦戦継続する見込みも、GPのアジア展開などを通じて再成長を見込む

## 投資事業

- 23年9月期と比較して、EBITDAで▲13億円の大きな減益要因

## UUUM

- 2024年9月期第1四半期からUUUM社の連結開始（見込み数値については非公表）



- IRISを中心に、持分法投資利益がEBITDAに貢献
- Playwireののれん・無形資産減損による償却費負担減（2.3億円）が生じる一方で、UUUM連結による償却費増が発生
- 上記影響についてPPA手続の中で24年9月期中に確定していく見込みのため、現時点では営業利益以下は非開示

単位:百万円

|               | FY23<br>実績   | FY24<br>業績予想 |
|---------------|--------------|--------------|
| <b>EBITDA</b> | <b>3,453</b> | <b>2,000</b> |
| 持分法投資利益       | ▲703         | ▲600         |
| 減価償却費+のれん償却費  | ▲576         | ?            |
| 株式報酬費用        | ▲268         | ▲36          |
| <b>営業利益</b>   | <b>1,611</b> | <b>非開示</b>   |
| 持分法投資利益       | 703          | 600          |
| その他（為替差損益等）   | 25           | ?            |
| <b>経常利益</b>   | <b>2,338</b> | <b>非開示</b>   |

---

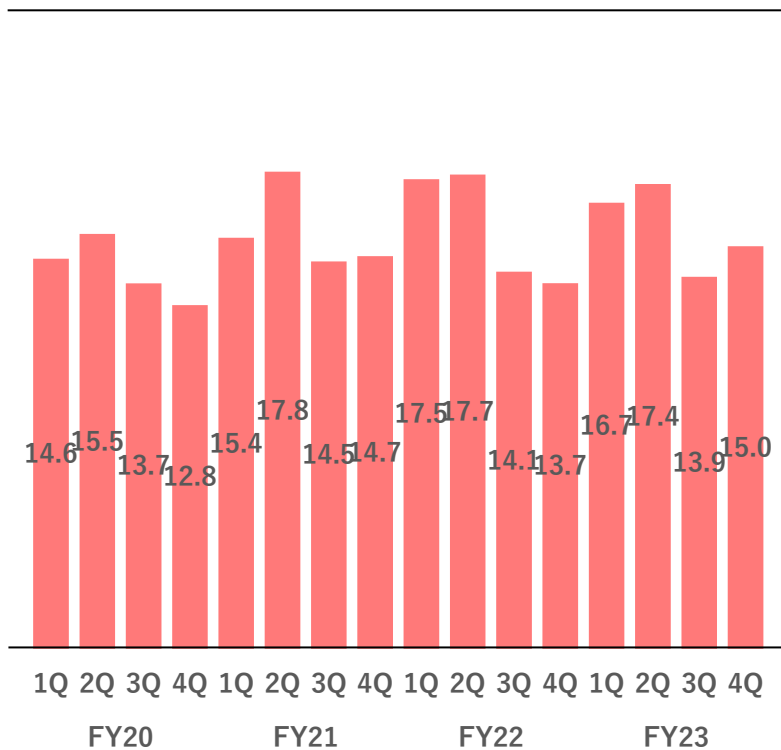
## Section5 事業の進捗（日本）

---

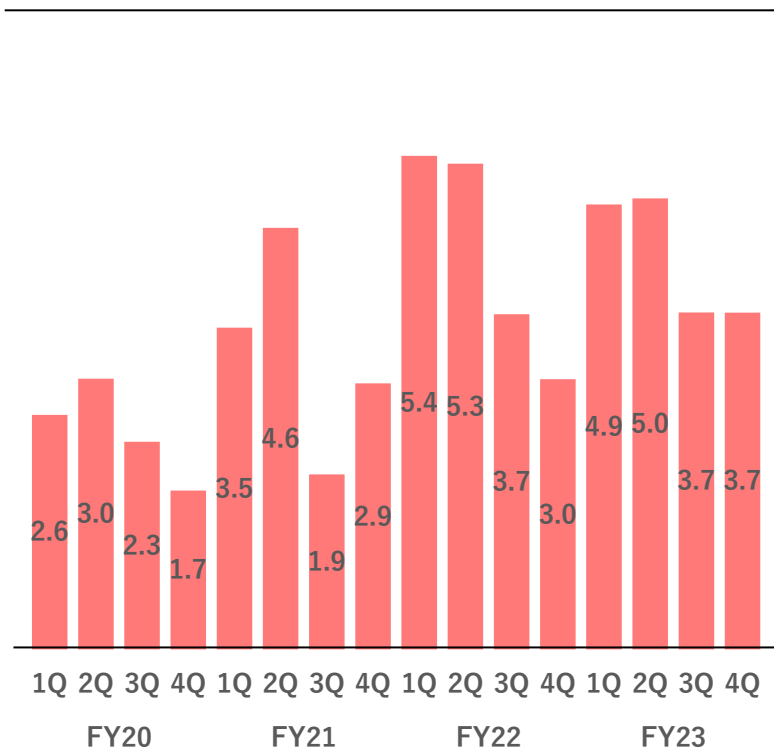
- 前年同四半期と比較して売上高、EBITDAともに10%程度の成長
- 本田商事などが順調なほか、IRISも税金費用の影響はなくなり、前四半期比EBITDA + 0.6億円で増益
- 2024年9月期以降については、UUUM社との事業シナジーやGPの他、Retail領域の事業を通じて再成長へ

単位:億円

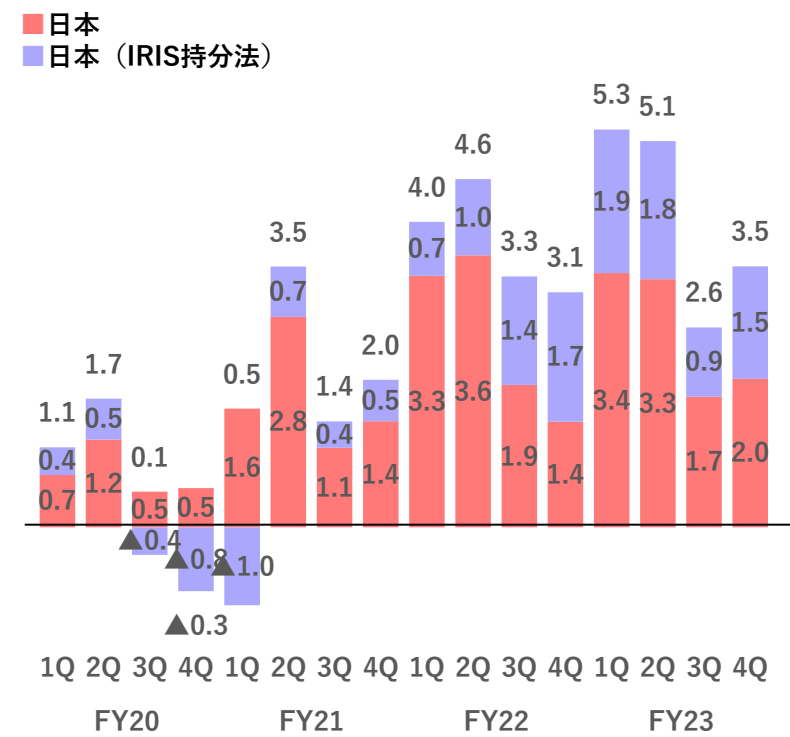
## 売上



## 売上総利益



## EBITDA



---

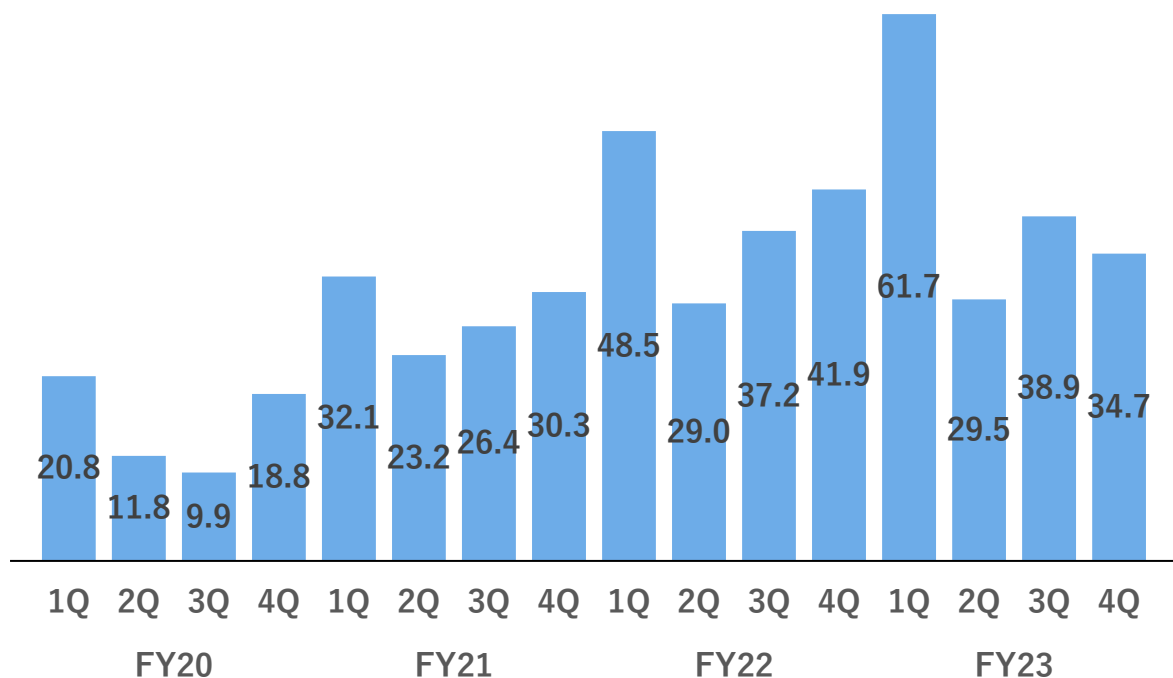
## Section6 事業の進捗（北米）

---

- クライアントロストの影響などにより想定より苦戦（当該影響除けば前年比売上微増で推移）
- マクロの市況や広告単価の下落はすでに沈静化へ
- 24年9月期は、上期は苦戦を見込むが、新規クライアント獲得により下期以降の回復/再成長を目指す

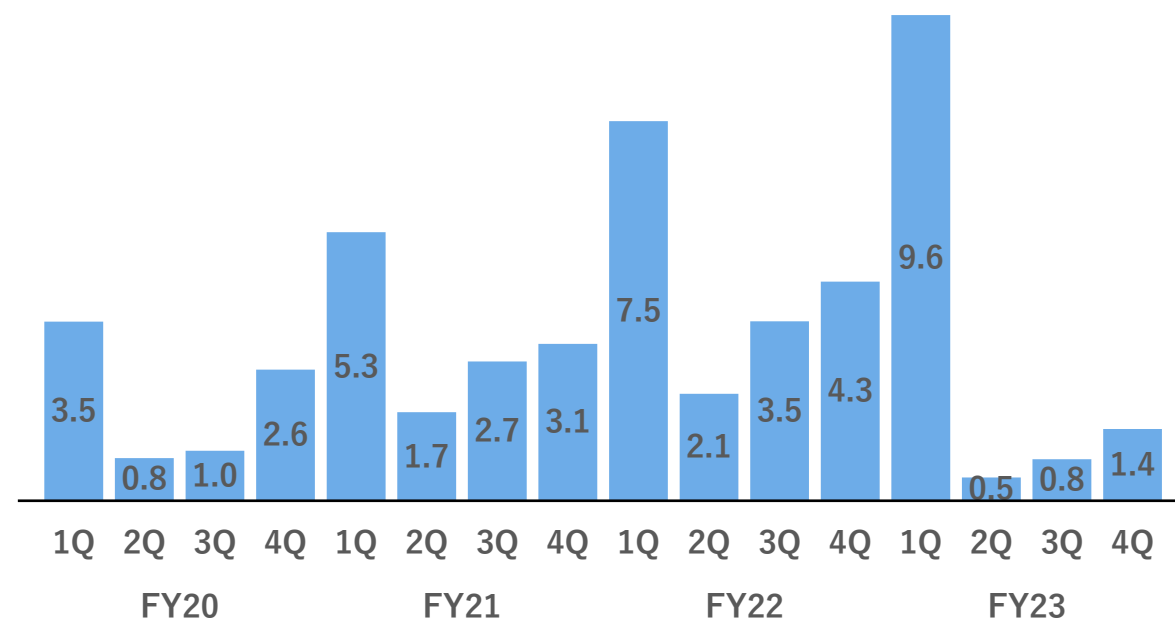
## 売上

単位:億円



## EBITDA

単位:億円



---

## Section7 事業の進捗（アジア）

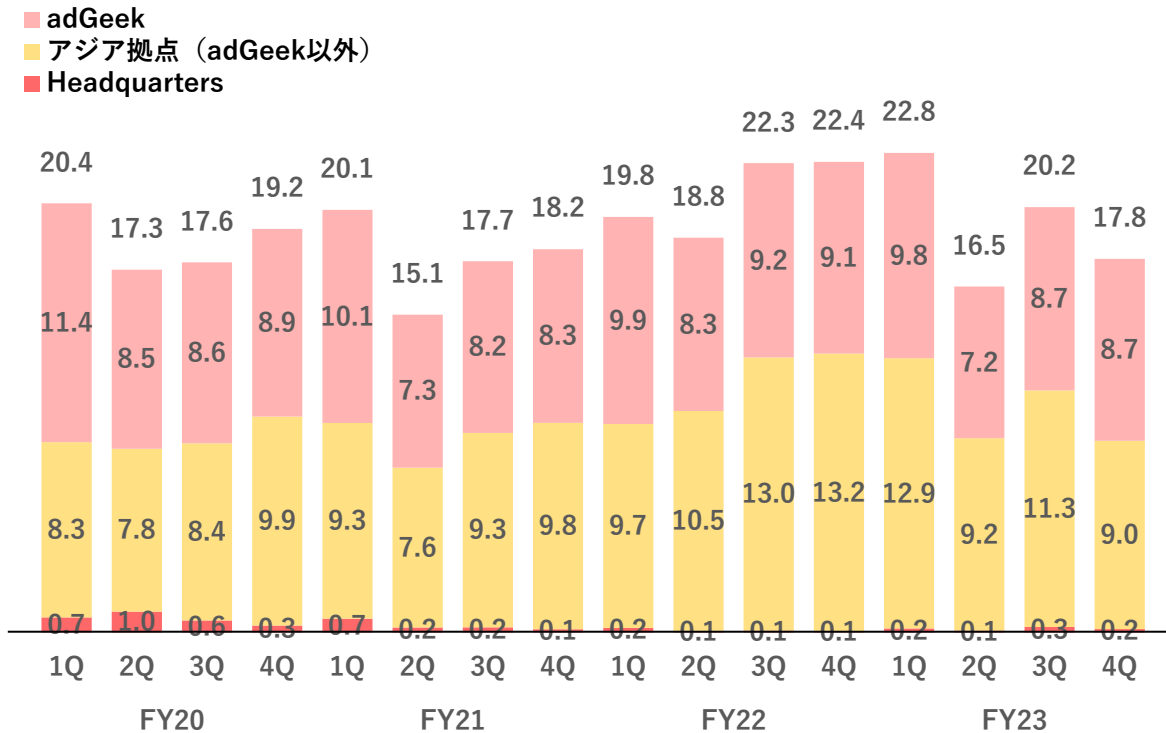
---



- 前年同四半期比で売上、EBITDAとも減少、中国事業が環境変化もあり苦戦
- 24年9月期以降は、GPのアジア展開に加えて、UUUM社との協業でアジア地域のインバウンド案件獲得等の事業シナジー実現に取り組む

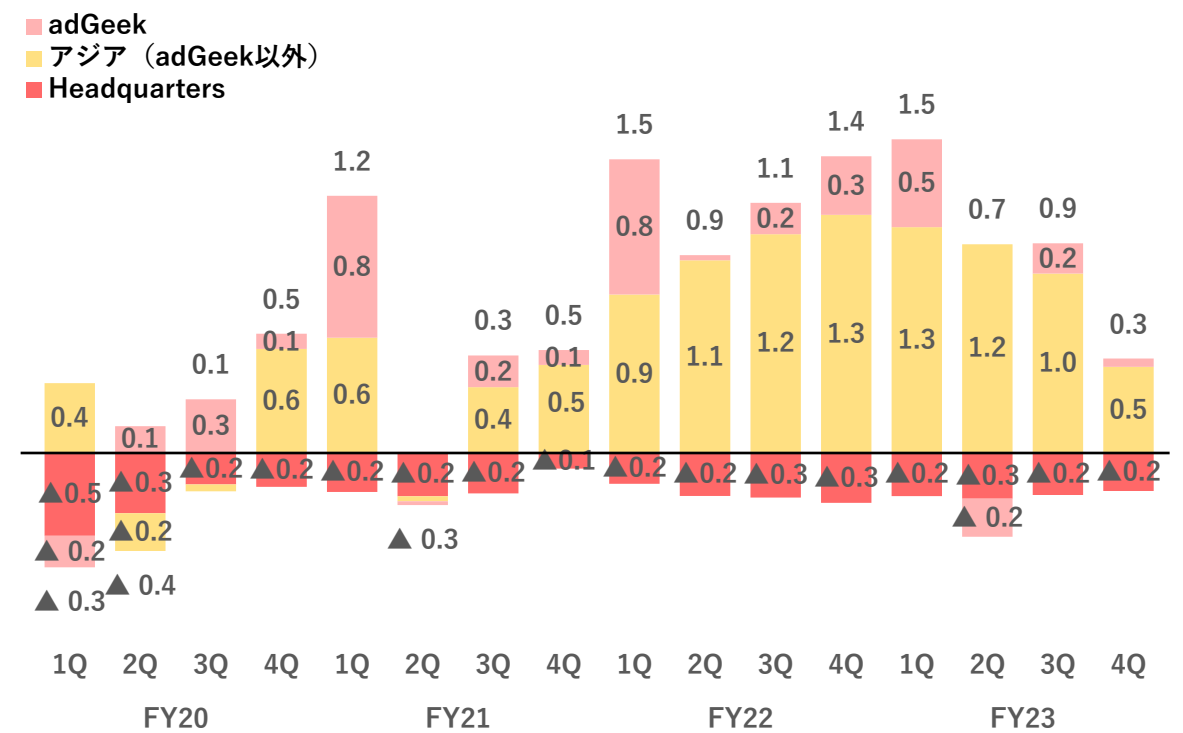
## 売上

単位:億円



## EBITDA

単位:億円



---

# Appendix 1

## 会社概要

---

|             |  |       |                     |
|-------------|--|-------|---------------------|
| 会 社 名       | 株式会社フリークアウト・ホールディングス                       |       |                     |
| 設 立         | 2010年10月1日                                 |       |                     |
| 資 本 金       | 35億5205万円                                  |       |                     |
| 所 在 地       | 〒106-0032 東京都港区六本木6-3-1 六本木ヒルズ クロスポイント     |       |                     |
| 役 員 構 成     | 代表取締役社長 Global CEO                         | 本田 謙  | 取締役 (常勤監査等委員) 井出 博之 |
|             | 取締役 CFO                                    | 永井 秀輔 | 取締役 (監査等委員) 高田 祐史   |
|             | 取締役 広告事業管掌                                 | 時吉 啓司 | 取締役 (監査等委員) 松橋 雅之   |
|             | 取締役 Playwire・adGeek管掌                      | 竹内 誠  |                     |
| 事 業 内 容     | グループ会社株式保有によるグループ経営戦略の策定・管理                |       |                     |
| 発 行 済 株 数   | 18,022,924株                                |       |                     |
| 主 要 株 主 * 1 | 本田 謙*2                                     |       | 34.10%*3            |
|             | 伊藤忠商事株式会社                                  |       | 15.73%              |
|             | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                   |       | 5.08%               |
|             | 株式会社カストディ銀行 (信託口)                          |       | 4.58%               |
|             | BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS - PACIFIC POOL |       | 4.23%               |
|             | スカパーJSAT株式会社                               |       | 3.72%               |

\*1. 2023年9月末時点の主要株主の状況を記載

\*2. 代表取締役である本田謙氏は資産管理会社MOTHERS OF INVENTION PTE. LTD.を通じて当社株式を保有

\*3. 2023年11月2日付けで本田謙氏と共同保有者による財務局への変更報告書の通り、同氏の当社株式保有率は2023年10月26日時点で34.1%に増加

---

## Appendix 2

# 業績補足資料

---

（単位:百万円）

|         | FY23 4Q | FY22 4Q | 前年Q比   | FY23 3Q | 直前Q比  |
|---------|---------|---------|--------|---------|-------|
| 変動費     | 4,582   | 5,151   | ▲11.0% | 4,965   | ▲7.7% |
|         | 62.0%   | 69.5%   |        | 70.5%   |       |
| 開発人件費   | 117     | 114     | 3.4%   | 119     | ▲1.2% |
|         | 1.6%    | 1.5%    |        | 1.7%    |       |
| サーバー関連費 | 117     | 109     | 6.9%   | 117     | 0.3%  |
|         | 1.6%    | 1.5%    |        | 1.7%    |       |
| その他     | 1       | 0       | 123.9% | 0       | 58.8% |
|         | 0.0%    | 0.0%    |        | 0.0%    |       |
| 売上原価計   | 4,817   | 5,374   | ▲10.4% | 5,201   | ▲7.4% |
|         | 65.1%   | 72.5%   |        | 73.8%   |       |

※金額の下に記載している%は対売上高比、FY23 4Q投資事業売上高9.1億円の原価対売上比率押下げ効果の影響で対売上高比は低下

（単位:百万円）

|          | FY23 4Q        | FY22 4Q        | 前年Q比   | FY23 3Q        | 直前Q比   |
|----------|----------------|----------------|--------|----------------|--------|
| 人件費      | 1,020<br>13.8% | 1,064<br>14.4% | ▲4.1%  | 1,044<br>14.8% | ▲2.3%  |
| 家賃・水道光熱費 | 61<br>0.8%     | 72<br>1.0%     | ▲15.4% | 72<br>1.0%     | ▲16.1% |
| のれん償却費   | 28<br>0.4%     | 28<br>0.4%     | ▲2.0%  | 26<br>0.4%     | 4.3%   |
| 減価償却費    | 118<br>1.6%    | 86<br>1.2%     | 37.0%  | 114<br>1.6%    | 3.3%   |
| 外注・報酬等   | 114<br>1.5%    | 118<br>1.6%    | ▲3.5%  | 117<br>1.7%    | ▲3.1%  |
| 採用費      | 15<br>0.2%     | 13<br>0.2%     | 20.8%  | 16<br>0.2%     | ▲7.4%  |
| 販売費      | 19<br>0.3%     | 28<br>0.4%     | ▲31.5% | 28<br>0.4%     | ▲32.9% |
| その他      | 673<br>9.1%    | 508<br>6.8%    | 32.5%  | 431<br>6.1%    | 56.1%  |
| 販管費計     | 2,046<br>27.7% | 1,916<br>25.8% | 6.8%   | 1,850<br>26.3% | 10.6%  |

※金額の下に記載している%は対売上高比



本資料の内容ならびに説明についてご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

## お問い合わせ先

お問い合わせフォーム：<https://www.fout.co.jp/contact/company/>

お問い合わせの種類：IR関連



**FreakOut**  
Holdings

Give People Work That Requires A Person.